



▲見事準優勝を勝ち取った田中陽樹さん

田中陽樹さん
全国大会準優勝！

バドミントン小学生大会

“第14回全国小学生ABCバドミントン大会”が熊本県で8月16日から18日の日程で開催。中央小学校6年の田中果帆さんと同校2年の田中陽樹さんが、佐賀県を代表して出場。田中陽樹さんがCクラス（小学校1、2年男子の部）で見事準優勝を飾りました。

予選リーグから順調に勝ち進み、準々決勝では、昨年の同大会で負けを喫した相手と対戦。今回はリベンジを果たしました。決勝では1セット目を落とすと、続けて2セット目も落とし、惜しくも準優勝でした。田中さんは「悔しかった。次は金色のメダルを取りたい」と目標を話しました。

父親でありクラブの監督である田中昌樹さんは「陽樹は負けを知って強くなるタイプ。集中力が途切れないようにメンタル面を強化したい」と次への課題を話しました。

ふるさと多久市のために役立てて

モロドミ建設株式会社から「ふるさと応援寄附」

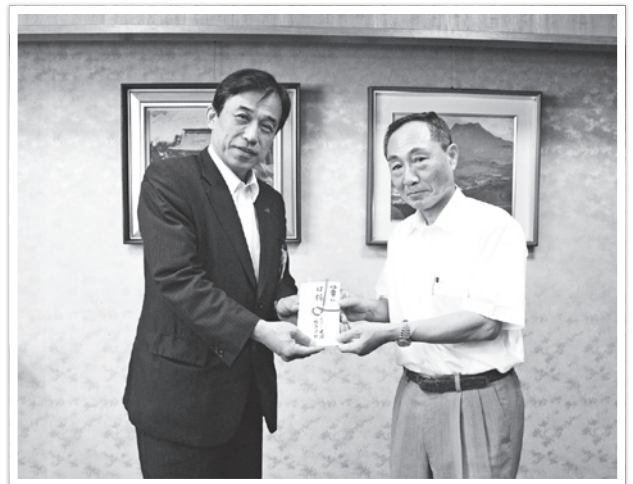
8月26日にモロドミ建設株式会社（南多久町）から「ふるさと応援寄附」として200万円の寄附をいただきました。

諸富公昭社長は「父の故諸富俊介が永年に渡り多久市および多久市民のみなさんにお世話になった。感謝の気持ちとして、寄附金を多久市のために活用していただければと思います」と述べられました。

諸富俊介さんは、生前、多久市議会議員を1期務められ、市交通安全協会会長や市体育協会副会長に就任されるなど、多久市のために様々な分野で活躍されました。

これら、公衆の利益のための尽力が称えられ、平成17年には、藍綬褒章を受章されました。

この寄附は多久市の発展のために、有効に活用させていただきます。



▲市役所を訪れ、市長に寄附を渡す諸富公昭社長（写真右）

第27回多久市童謡の集い

9/7

秋の訪れを告げる『多久市童謡の集い』（主催：多久市文化連盟）が中央公民館であり、好齢大学院音楽科をはじめ、たくジュニアコーラス、多久保育園児、コーラスいずみなど4団体が参加しました。昔懐かしい童謡や、曲に合わせてかわいい衣装を身に付けた園児による童謡、児童たちによる力強い歌声で合唱曲などが披露され、フィナーレには、来場者全員で『ふるさと』などを合唱。会場は美しいメロディに包まれていました。



地域の安全を守る基礎力向上のために

9/1

第51回多久市消防団訓練大会が多久市陸上競技場で開催。大雨の中、各分団は部隊の礼儀や節度、規律を競う訓練礼式の部、ラッパ吹奏の部で日頃の訓練の成果を披露しました。



各種目の成績は次のとおりです。

- ・訓練礼式の部 優勝：北多久分団第3部
2位：多久分団第2部 3位：多久分団第1部
- ・ラッパ吹奏の部 優勝：西多久分団
2位：南多久分団 3位：多久分団